

谷口正晃監督最新作『父のころ(仮題)』 1970年代名曲『プカプカ』の大塚まさじを主演に迎え

映画「時をかける少女」で仲里依紗、「乱反射」で桐谷美玲など新人女優の演出に定評のある谷口正晃監督が今度は名曲「プカプカ」で1970年の日本の若者たちを魅了した関西出身のフォークシンガー大塚まさじを主演に迎える。京都を基盤とするシマフィルムと新人俳優の育成・起用を得意とする映画24区がタッグを組み、「大人の鑑賞に堪えうる映画」をTV局主導のアニメ・漫画映画が蔓延る日本の映画界に突きつける。

■監督：谷口 正晃（『時をかける少女』『乱反射』『シグナル ～月曜日のルカ～』）

■撮影：上野彰吾（『ごめん』『ぐるりのこと。』『時をかける少女』）

■脚本：濱本敏治・谷口正晃

■プロデューサー：志摩敏樹（シマフィルム代表） 三谷一夫（映画24区代表）

■製作・制作：シマフィルム株式会社 株式会社映画24区

■主演：大塚 まさじ （『プカプカ』～ザ・ディランⅡ～）

■出演：日永貴子 古賀勇希 上西愛里 福本清三 他

■公開：2014年公開予定

■作品概要：京都を舞台にした家族の物語

■撮影時期：2013年5月14日～20日予定

■ロケーション：元・立誠小学校および京都市街

【物語】

奥村家の主・賢一は、9年前、なんの前ぶれもなく家からいなくなった。仕事で取り返しのつかない失敗をしたことで妻・葉子との関係が壊れてしまい、打ちひしがれたまま、故郷である京都と家族を捨てたのだ。葉子は、残された子供の宏志と恵美を一人で育てた。母子三人の暮らしは決して楽なものではなかったが、葉子の懸命さで、兄妹は学校を出、いまは一人前の社会人になった。

そんなある日、賢一を京都で見かけたという連絡が宏志に入る。手がかりをたどるうち、父との再会を果たす宏志。突然の父の出現——それにはワケがあった。賢一は、家族に会うために帰ってきたのではなかった。失踪先で世話になった女性が最近亡くなり、彼女の実家にそのお骨を届けるためだったのだ。複雑な思いを噛みしめながらも、そのことは自分だけの胸の内にとどめておく宏志。

翌日、宏志は恵美を賢一に引き合わせた。最初は反発し、ごちない態度の恵美だったが、賢一の気持ちは垣間見えるにつれ、和らいでいった。そんな恵美は自身の結婚の結納に、賢一にも同席してほしいと言い出す。答えに窮した賢一は、自分はさておき葉子が許すまいと水を向ける。しかし、この際とりあえず葉子と会ってほしいと訴える恵美の言葉に抗いきれず、奥村家に赴くことになる。

いよいよ奥村家の四人は、9年ぶりに揃ったのだが――

■谷口 正晃（監督）コメント

一步踏み込めば、どんな家庭にも『人には言えないこと』の一つや二つはあることでしょう。そういう実感と真摯に向き合った『家族』の映画を、かねがね作りたいと思っていました。『家族』であるからこそ『愛おしさ』、『やるせなさ』、『面倒臭さ』といった一つ一つを、正直に、丁寧に描き出していきたいと思います。

■大塚 まさじ（主演）コメント

普段は唄うたいなので映画とは表現方法が相当違いますが、伝えたいという気持ちは同じだと信じています。谷口監督はじめ皆さんに支えてもらいながら、いい映画になればと祈るばかりです。がんばります！！

【問い合わせ先】

シマフィルム株式会社（田中）

Mail : info@shimafilms.com

〒602-8368 京都市上京区北町 570-3（シマフィルム京都オフィス）

TEL & FAX 075-201-5167

株式会社映画 24 区（長岐）

Mail : info@eiga24ku.jp

〒151-0072 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-20-8-BF

TEL 03-3497-8824/FAX 03-3497-9824

【運営会社概要】

■シマフィルム株式会社

京都を拠点に、映画の製作・配給を行う。『風花』（00年／相米慎二監督）、『ぼくんち』（02年／阪本順治監督）の製作に志摩敏樹が参加したことを契機に、志摩の地元、舞鶴を舞台にした『ニワトリはハダシだ』（03年／森崎東監督）の製作を行う。『おそいひと』（04年／柴田剛監督）、『17歳の風景 少年は何を見たのか』（05年／若松孝二監督）、『かぞくのひけつ』（06年／小林聖太郎監督）を製作。福知山シネマ、舞鶴八千代館の運営にも取り組む。09年より京都市内にシマフィルム京都オフィスを設立し、京都を舞台にしたシリーズ「京都連続」を開始。『堀川中売』（10年／柴田剛監督）、『天使突抜六丁目』（11年／山田雅史監督）、『太秦ヤコペッティ』（13年／宮本杜朗監督）と立て続けに製作している。

本社 : 〒624-0951 京都府舞鶴市上福井 117

TEL 0773-75-0652（代表）／FAX 0773-76-5591

京都オフィス : 〒602-8368 京都府京都市上京区北町 570-3

TEL & FAX 075-201-5167

設立 : 2004年4月

代表者 : 志摩 敏樹

■株式会社映画 24 区

映画製作・配給、映画人材育成、映画や映像を活用した地域プロデュース業務を行う。

2011年4月に映画人の育成を目的とした「映画24区ワークショップ」を東京に開講。

主要カリキュラムは「俳優」「シナリオ」「地域プロデューサー」の3コース。なかでも映画や映画館を活用したまちづくり・映像教育等に取り組む「地域プロデューサーコース」は映画業界では他に例がなく、多方面から注目されている。これまでに手掛けた映画製作作品としては『傷跡』（11年／富樫森監督）、『1+1=11』（12年／矢崎仁司監督）。今年は『夏がはじまる』（13年／富樫森監督）、『砂をつかんで立ち上がれ』（13年／藤澤浩和監督）、『乙女のレシピ』（13年／三原光尋監督）の3本が公開待機中。

本社 : 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-20-8-BF

TEL 03-3497-8824（代表）／FAX 03-3497-9824

設立 : 2009年4月

代表者 : 三谷 一夫